

ドヴォルザーク

交響曲第9番ホ短調

「新世界より」

コープランド

アパラチアの春

ブラームス

悲劇的序曲

コンサートマスター
森下 幸路
Koji Morishita
大阪交響楽団
首席ソロコンサートマスター

指揮
村上 史昂
Fumitaka Murakami

長野フィルハーモニー管弦楽団演奏会

NAGANO PHILHARMONIC ORCHESTRA

2026.2/15(日) 開演/14:00 開場/13:00

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 中ホール

チケット料金 | 一般: 1,500円 高校生以下: 500円
車いす席ご希望の場合は会館窓口でご購入をお願いします。

プレイガイド | ホクト文化ホール窓口 <https://p-ticket.jp/naganobunka>

問い合わせ先 | ホクト文化ホール TEL. 026-226-0008



指揮

村上 史昂

Fumitaka Murakami



千葉県出身。関西学院大学総合政策学部を経て、2023年東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。卒業時に同声会賞を受賞。2023年10月より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務めた。在学中より音楽活動だけでなく、社会活動にも積極的に携わっている。2017年8月、長野にて行われた関西学院交響楽団スペシャルチャリティーコンサート「project R “拉致被害者を忘れない。”」にて、ヴァイオリニスト・五嶋龍と共演。また、2016年から3年間、認定NPO法人ミュージック・シェアリングの楽器指導支援プログラムにて、ヴァイオリニスト・五嶋みどり率いるICEPカルテット、そして大阪府立大阪南視覚支援学校を始めとするプログラム参加各校と共演。現在も協力アーティストを務める。さらに2016年から2025年にかけて、5度に渡り途上国にて教育的音楽普及活動を行うワールドシップオーケストラ主催のカンボジアプロジェクトを指揮者として率いた。2024年9月セントラル愛知交響楽団を指揮してデビュー。これまでにセントラル愛知交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、千葉交響楽団、グランドフィルハーモニック東京と共演。指揮を角田鋼亮、高井優希、三河正典、山下一史、高関健の各氏に師事。



コンサートマスター

森下 幸路

koji morishita

大阪交響楽団
首席コンサートマスター

京都市生まれ。桐朋学園大学卒業。米国シンシナティ大学にてドロシー・ディレー女史に学ぶ。97年にはスペイン、2011年より毎夏北ドイツ音楽祭、13年からたびたび台湾に招かれ、14年にはオーストリー、18年、19年とモスクワ、また21年はモスクワでのリサイタル、サンクトペテルブルク（マリンスキー大劇場）でのガラコンサートを成功させた。特選盤を含むソロアルバム多数。

小林健次、田中千香士、江藤俊哉・アンジェラ夫妻他に師事。

2000年まで仙台フィル、現在は大阪交響楽団首席ソロコンサートマスター、大阪音大特任教授、東京音大指揮科アドバイザーをつとめている。

※使用楽器は将軍堂(株)(H.Hiruma)の貸与 Antonio Stradivari “Reichardt”, 1680

NAGANO PHILHARMONIC ORCHESTRA



長野フィルハーモニー管弦楽団

長野県県民文化会館とオーストリア・ウィーン楽友協会との姉妹提携事業の担い手として活動するため、1988年に会館附属団体「長野県県民文化会館管弦楽同好会」としてスタート。その後「長野フィルハーモニー管弦楽団」と改称し、現在に至る。

1998年3月長野パラリンピック開会式で演奏、また1999年10月には長野県文化使節団として「ウィーン楽友協会ゴールデンザール」において演奏会を開催した。毎年9月はウィーンの、2月は国内外の音楽家とそれぞれ共演し近年はラフマニノフ/交響的舞曲(2024年2月)ムソルグスキー(ラヴェル編)/展覧会の絵(2023年9月)ブルックナー/交響曲第7番(2019年9月)などの意欲的な作品を取り上げている。